

## 山口県小児科医会

山口県小児科医会は昭和42年に結成され、今年で36年になります。本会は小児の医療、保健および福祉の充実、向上を図り、もって小児の心身の健全な発育と発達に寄与することを目的としています。現在の会員は小児医療の最前線で働く開業医、勤務医170名です。最新小児科学や子どもの心の問題、子育て支援を含めた教育研修講演会を年3回開催して勉強を行っています。また情報手段として、年5回のFAXニュース、年3回の医会ニュース、年1回の会報を発行して会員相互の情報共有と広報活動に務めております。その他IT時代に即応した医会ホームページも開設しております。平成15年度の活動方針は、小児救急医療対策、乳児健診の充実、乳幼児医療費助成運動、予防接種広域化のさらなる充実、麻疹（はし



山口県小児科医会ホームページ  
http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/yamape/



か）制庄運動、園医・学校医の活動強化などであります。役員は県内全域から会員選挙などで選ばれた40代、50代の理事19名が中心に活動しております。高度の少子化がすすむ中、今後は国、県、市町村をあげてこの問題に取り組んでおります。小児の救急問題など我々小児科医にかかると負担は年々重くなっておりますが、このような時こそ我々小児科医がお互いに協力し努力しなければなりませんと思っております。山口県小児科医会は子ども達のためになる活動を行ってまいります。

山口県小児科医会  
会長 砂川 功

## 団体紹介

こちらでは毎回健康やまぐち21県民会議参画機関の活動についてご紹介いたします。



## 山口県母子保健推進協議会

山口県母子保健推進協議会は、昭和43年から市町村単位で行われていた母子保健活動の体制強化を図るため、昭和60年10月、「愛の手を広げて守ろう母と子を」のスローガンのもとに設立されたもので、以後、母子保健推進員の資質の向上を図るための研修や、各市町村間の情報交換などを実施してまいりました。

相談の援助、また、地域に密着した自主的な活動として、各季節の行事（七夕、運動会、クリスマス、豆まき）や、母子保健推進員手作りの紙芝居の上演、本の読み聞かせ等、地域によって力の入れどころは異なりますが、親子や母親同士が楽しめるさまざまな活動を行っています。また、平成12年には全国組織も設立されたことから、他県の活動状況に関する情報提供などを行い、活動のレベルアップを図っています。

平成15年3月には、家庭訪問をする際の手みやげとして、母子保健推進員の活動内容や子育てアドバイスを紹介したリーフレット「育てよう愛の手広げ地域の子」を作成しました。

健康づくりのスタートは「母子保健」です。地域のつながりが希薄になっていくと感ずるこの頃、私たち母子保健推進員は、母と子を守るため、これからも活発な活動を続けていきます。どうぞ、気軽に声を掛けてください。

山口県母子保健推進協議会  
会長 林 夕力枝



このコーナーでは、あなたの健康づくりを応援する団体の活動を紹介します。

# 豊かな人生

応援します!! あなたの健康づくり

## 「みんな元気 もっと元気」

周南健康福祉センター  
健康増進課 中尾 建生  
当センターでは、平成14年度から3か年計画で、周南(徳山)市須々万地区の沼城小学校・須々万中学校をモデル校として、地域と学校との保健連携により子どもたちの健康づくりの推進を図る「ジュニアヘルス推進モデル事業」を周南市と共同して行っています。

平成14年度は、小児生活習慣病対策と健康づくりサポートプログラムの2つのワーキンググループで作業を開始し、学校との連携をめざして、お互いの考え方や活動状況話し合い、理解し合うための会議を何度も開催しました。また、小児生活習慣病対策では、生活習慣実態調査項目や、血液検査などの健診項目を決定していきました。また健康づくりサポート活動では、地域保健関係者が学校に出かけ、保護者参観日や、総合的な学習の時間「学習の時間」などを利用したプログラムをいくつか試み、実施可能なサポートの種類と方法を検討してきました。



今年度は、生活習慣の調査や予防健診を実施し、その結果をもとに保健活動を行う予定です。また、学校における健康教育を支援するためのサポート活動は、学校と共同で作成した年間計画に基づき、さまざまな機会や方法で実施します。とくに、「モデル校だからできる」ものに終わらせず、この地域や学校でも実施可能で有効なプログラムにするために、事業ごとに評価を加え、プログラムの作成を行う予定です。

地域ぐるみの健康づくりに、みんなが参加し、楽しく進めたいと考えています。

## エッセイ

こちらでは毎回県下各地の健康福祉センターや保健センターで働く人たちのエッセイをご紹介します。

## 「オアシスへようこそ」

秋穂町健康福祉課 保健師 中谷 智子



周防大橋が開通した頃から阿知須町と合同で実施している「マタニティ講座」ヨイフルクッキング。対象は妊婦さんと生後6か月までの乳児のお母さんたちです。参加者の過半数は産婦さんなので当日は赤ちゃんもいっぱい。それはにぎやかです。託児ルームで赤ちゃんの引き継ぎが終わると、まずは栄養士さんの講義。妊娠・授乳期に必要な栄養についてのお話と、これから家族の食生活を担うお母さんへのアドバイスを受けて、いよいよ調理開始!この日は「ちゃんとお腹いっぱい」をテーマに「朝ごはん」と題したメニューでした。



毎回お母さんスタッフも、トタパタしながら終わるのですが、「次の妊娠の時もまた来ます」「マタニティじゃないヨイフルクッキングがあったらいいな」とうれしい一言。リピーターの多い教室なのです。

終了後、なかなか帰ろうとしないお母さんたち。ヨイフルクッキングは妊婦、産婦の枠を越えた友達づくりの場であり、ほんのちよつと育児から解放される自分のための時間。育児にちよつと疲れってしまったお母さんの心とおなかを満たすオアシスだと自負しています。